資料２

「世界青年の船」事業における日本人参加青年の多様性の拡大

内閣府青年国際交流担当

- より幅広い青年からの応募、意欲はあるが経済的困難を抱える青年の参加の促進のため、平成27年度事業より、参加費免除枠を設定（平成27年度は10名、平成28年度は12名）。
- 多様なバックグラウンドを持つ参加者の確保の観点から、平成28年度選考試験における審査方法を見直したことにより、地方出身者及び社会人の割合がそれぞれ上昇した。

＊人数等は選考試験合格者ベース

日本人参加青年の多様性の拡大

	平成27年度事業	平成28年度事業
地方出身者の割合	48．8%	62．4%（＋13．6%pt）
社会人の割合	13．8%	29．8%（＋16．0%pt）
男性の割合	28．4%	32．2%（＋3．8%pt）